

開催案内

マンスリーセミナー

460 回	9/28 (火)	産業用レーザー発振器・加工技術の進化と 生産適用の拡大について	タマリ工業 レーザシステム事業部 理事 三瓶 和久 氏
<p>(内容)2050年のカーボンフリーの実現に向けて、自動車の電動化が急速に進みつつある。欧米各国、中国、日本では2035年までに100%電動化のシナリオが固まりつつある。主要な電動化部品として2次電池、モーター、インバータ等があるが、溶接する材料が、鋼材から銅アルミに変わる。さらに、現在の電動化率10%が100%に増加すると生産台数が10倍に拡大することになり、生産性の向上が喫緊の課題となっている。このような課題に対して、レーザー発振器、周辺機器が進化し、生産ラインへの適用が始まりつつある。また、レーザーの微細加工の分野でも、これまでの電子部品の様な小さな部品への適用から、自動車部品サイズのより大きな部品への適用のニーズが高まっており、それに対応する形で超短パルスレーザーの高出力が急速に進み、適用が始まりつつある。ここ数年のレーザー発振器、および周辺機器の進化と、それに伴う生産適用の事例について紹介する。</p>			
461 回	10/19 (火)	高速光学デバイスによる ダイナミックイメージコントロール	群馬大学 情報学部 教授 奥 寛雅 氏
<p>(内容)2021年3月にXiaomiが液体レンズを搭載したスマートフォンMi MIX FOLDを発表するなど、単体で光学特性を変調可能な光学デバイスがその応用用途を広げつつある。このようなデバイスには、省フォームファクタや低消費電力、高速応答などの利点がある。本講演では、液体レンズ技術を概説するとともに、このような光学デバイスがもつ高速応答を活用する新たな撮像手法やプロジェクションマッピング手法について紹介する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅）
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時間：午後3時30分～5時30分
定員：90名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参加料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
支払方法：銀行振込
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 E-mail：mly@oitda.or.jp